

# 2015年度

## 特殊講義 M (企業発展実態分析) 講義要項

### 【開講形態】

- 履修可能年次：3年次～
- 定員：**20名**（希望者多数の場合は抽選）
- 開講時間割：木曜1限

### 【講義の概要】

この授業では、企業行動論 I・II での講義内容（概念および考え方）を前提として、実際に企業においていかにして発展をめざした行為がなされているのかをグループディスカッション形式で討論し、プレゼンテーションすることで、より実践的な能力を身につけることをねらいとします。

なお、本講義ではグループによる討議・エッセイ（テーマに関する小論文；テーマごとに事前&事後）執筆・プレゼンテーションなど、受講者の積極的な活動と協働が不可欠です。したがって、原則的に欠席や遅刻は、その時点で履修資格喪失および単位不認定となることをあらかじめ了解したうえで、履修するかどうかを判断してください。体調管理はもちろんのこと、「就職活動だから」という理由も基本的に考慮しません。また、授業遂行の関係上、履修可能人数を **20名** に限定します。履修を希望する人は、かならず第1回目の授業に参加してください。履修希望者が **20名** を超えた場合には、抽選となります。

本授業は毎回の活動が評価対象です。以下の点を遵守・実行できるかどうか、ご自身で判断のうえ、履修するかどうかを決めてください。「しんどい」ですが、積極的に参加する人にとっては「おもしろい」し、「実力が身につく」と思います。

- (1) この授業は教員が一方向的に説明して、みなさんが聴きつつノートを取るという一般的な形態とは異なります。グループ（テーマごとに組み換え）での調査・研究・討議を経て、レポートおよびプレゼンテーションとして報告するという能動的な学習（アクティブ・ラーニング）です。「フリー・ライダー」（他人任せにして、成果だけ乗っかろうとする人）や「参加意思&実際の参加がない人」は、単位修得は不可能です。
- (2) 基本的に、授業時間内で文献理解・調査・分析・プレゼンテーション準備が完結することはありません。したがって、授業において提示された課題を授業時間外にグループメンバーで時間を調整したり、分担したりして完結させることが要求されます。
- (3) 普通の「聴講型」授業よりもハードです。でも、その分、理解度は高まります。しっかりやれば、充実度も高いと思います。
- (4) 就活を含め、社会で役に立つのは「知識」そのものというより、「知識の使い方」です。聴講型授業で得た知識を駆使するトレーニングだと考えてもらえれば、この授業のイメージが湧きやすいと思います。
- (5) 正解が一つだけということはありません。基本的な枠組に即しつつ、みなさんがしっかり考えたその成果を大事にします。手抜きは許しません。

なお、セッションのテーマについては、時宜に応じて受講者が関心を持てるテーマに差し替えることがあります。

## 【講義のねらい】

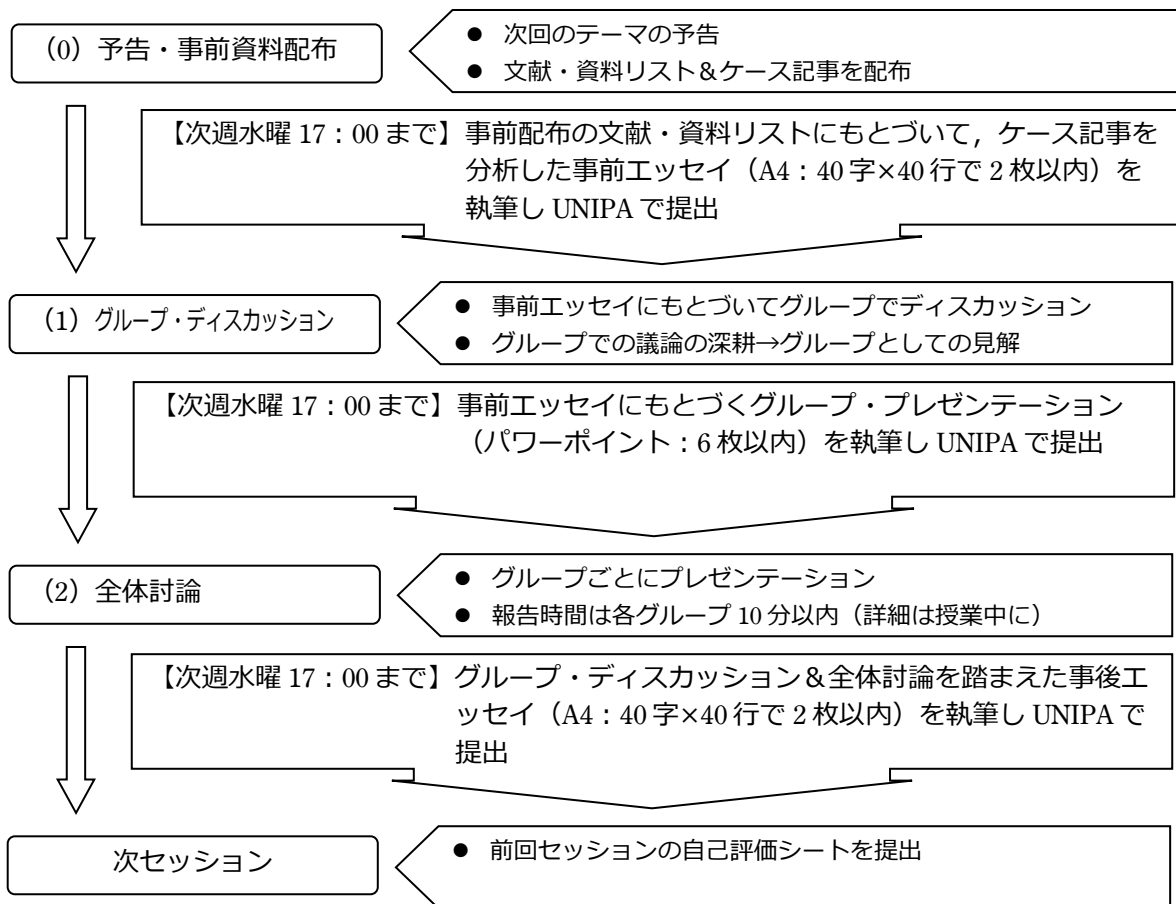
- (1) 企業行動論 I・II での講義内容を踏まえて、具体的な企業の事例を分析する能力を身につける。
- (2) 企業の事例分析をベースに、どうすれば「企業発展が可能になるのか」という構想形成能力を身につける。
- (3) グループワーク形式による思考能力を身につけるとともに、必要な文献・データ・資料などを探索し、それを分析・構想形成につなげる能力を獲得する。

## 【講義の計画】

- |        |  |
|--------|--|
| 第 1 回  | イントロダクション：授業の進め方，評価方法，抽選方法の説明，抽選登録   |
| 第 2 回  | 企業発展論のフレームワーク  |
| 第 3 回  | 考えるための方法：理論文献，事例資料の読み方，考察の方法，エッセイの書き方<br>【テーマ・セッション①】セブン・プレミアムにおける価値創造 (0) 予告・資料配布                             |
| 第 4 回  | 【テーマ・セッション①】セブン・プレミアムにおける価値創造 (1)<br>⇒ 事前エッセイにもとづくグループディスカッション   |
| 第 5 回  | 【テーマ・セッション①】セブン・プレミアムにおける価値創造 (2)<br>⇒ GD にもとづく全体討論〈終了後，事後エッセイ執筆&提出〉<br>【テーマ・セッション②】企業理念の有効性 (0) 予告・資料配布       |
| 第 6 回  | 【テーマ・セッション②】企業理念の有効性 (1)<br>⇒ 事前エッセイにもとづくグループディスカッション  |
| 第 7 回  | 【テーマ・セッション②】企業理念の有効性 (2)<br>⇒ GD にもとづく全体討論〈終了後，事後エッセイ執筆&提出〉<br>【テーマ・セッション③】企業理念の有効性 (0) 予告・資料配布                |
| 第 8 回  | 【テーマ・セッション③】企業発展を可能にする成果獲得ポテンシャルの構築 (1)<br>⇒ 事前エッセイにもとづくグループディスカッション   |
| 第 9 回  | 【テーマ・セッション③】企業発展を可能にする成果獲得ポテンシャルの構築 (2)<br>⇒ GD にもとづく全体討論〈終了後，事後エッセイ執筆&提出〉<br>【テーマ・セッション④】企業理念の有効性 (0) 予告・資料配布 |
| 第 10 回 | 【テーマ・セッション④】多様なステイクホルダーとの関係性の構築 (1)<br>⇒ 事前エッセイにもとづくグループディスカッション   |
| 第 11 回 | 【テーマ・セッション④】多様なステイクホルダーとの関係性の構築 (2)<br>⇒ GD にもとづく全体討論〈終了後，事後エッセイ執筆&提出〉<br>【テーマ・セッション⑤】企業理念の有効性 (0) 予告・資料配布     |
| 第 12 回 | 【テーマ・セッション⑤】企業発展と組織形成 (1)<br>⇒ 事前エッセイにもとづくグループディスカッション   |
| 第 13 回 | 【テーマ・セッション⑤】企業発展と組織形成 (2)<br>⇒ GD にもとづく全体討論〈終了後，事後エッセイ執筆&提出〉   |
| 第 14 回 | 全体のまとめ討論<br>⇒ これまでのセッション全体を踏まえた総括的討論   |
| 第 15 回 | 総 括  |

## 【講義の基本的な枠組】

⇒ この授業では、以下のような流れで展開されます。



- ⇒ 企業行動論 I・II の内容を前提としますので、できれば企業行動論 I・II をすで履修しているのが望ましいです。ただ、参加意欲の高い人を排除したくないので、同時履修 (2015 年度に履修している人の参加も可能とします)。
- ⇒ 個人レベルでの論理的な思考 & 文章構成能力の向上と、そのために必要なグループでの討論という 2 つの軸を重視します。
- ⇒ 文献やデータの探索、グループ・ワークなど、ゼミ活動や卒業論文、さらには就職活動、社会に出てから、と役に立つ基礎能力を身につけてもらいたいと考えています。

## 【評価方法】

事前 & 事後エッセイ (×5) : 75%

→ 事前から事後における内容のブラッシュ・アップも評価対象です。

質疑・討論への参加 (×5) : 15%

→ グループ・ディスカッション & 全体討論への参加状況にもとづいて評価します。

自己評価 (×5) : 10%

→ 自分でどれだけの能力向上を図れたのか、自らを評価する能力も評価対象です。

## 【受講上の注意】

- わからないことについて、自分で調べるのはもちろんですが、どんどん聞いてください。
- 授業に関係ない行為については厳しく対処します。注意しても改善がみられない場合には、単位認定対象から外します。
- 教室内での携帯電話での通話は当然のこと、メールも厳禁です。そんな暇はないです。
- 教室の関係上、飲食 (ガムを含む!!!) は一切できません。

